

留萌ダム

手塩に掛けた苗木をふるさとの地に！
“29名の児童が千バベリで森づくりを実践”



平成20年6月26日、ダム周辺を豊かな森にするため、留萌みなとライオンズクラブの協力のもと、市立緑丘小学校の6年生が植樹を実施しました。

植樹した苗木は、生徒自らが2年前に「ちばべりふれあいの森」で採集した種から丹精こめて育苗したもので、ミスナラ、エゾヤマサクラ、オニグルミなど各サークルに12種類を植え込みしました。

この植樹の手法は、生態学混播混植と云う技法で、直径約3mのサークル内に種類の違う苗木を植え込むものです。

晴天に恵まれたこの日、生徒達は10班に分かれ、専門家のアドバイスを受けながらショベルを用いて丁寧に作業を行い、植えた苗の丈などを記録に残しました。

今後、植えた苗は風雪に耐えながら力強く成長し、きっと50年後には立派な成木となりふるさを潤してくれることでしょう。



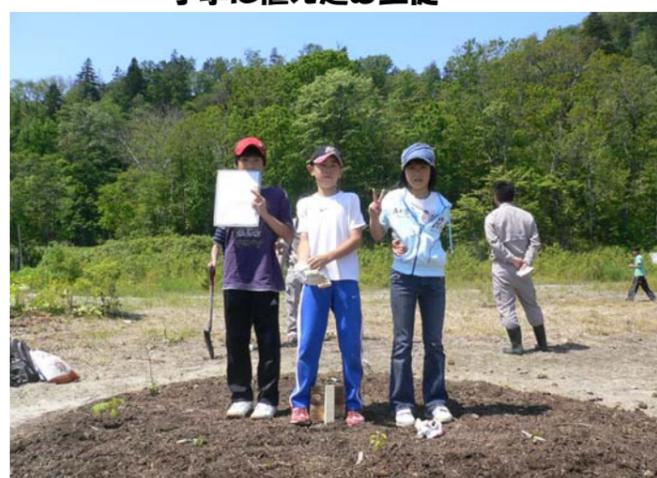
専門家の助言を受ける



丁寧に植え込む生徒



協力を頂いたライオンズクラブのメンバー



全ての作業を終了し記念撮影